

《武蔵野市独自支援：レスキュー2事業》 新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養支援の取り組み状況について

新型コロナウイルス感染症でPCR検査等を受検し、陽性反応となった方のうち、入院や宿泊療養施設への移行のために自宅待機・療養されている市民の方の支援窓口を開設するとともに、レスキューフーズ（備蓄食料品3日分）の配送を開始しました。

また、支援を必要とする高齢者の介護者が陽性となり介護者が不在になった場合や、高齢者本人が陽性となり自宅待機・療養になった場合に、レスキューヘルパーが感染症対応防護服を着用のうえ身体介護や生活援助を行うサービスも提供しています。

2つのレスキュー事業を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により不安な在宅生活をされている方を市として独自に支援していきます。

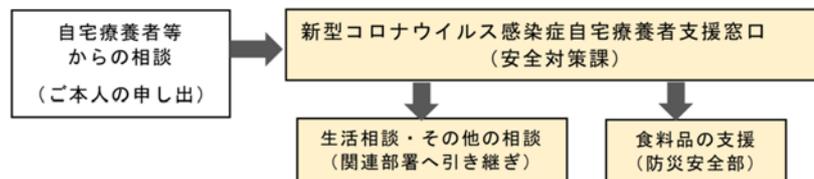


レスキューフーズ（写真は1日分）

■自宅療養者支援窓口とレスキューフーズ配送（無料）

開設日：令和3年2月1日

支援窓口のフロー：



窓口利用時間：平日午前9時～午後5時

支援実績（2月15日時点）：相談8件、レスキューフーズ配送8件（11人分）

■感染症対応レスキューヘルパー事業（無料）

開始日：令和2年5月21日から。

※急病やけがの際などに一時的な支援を提供する通常のレスキューヘルパー事業は従前より実施。

支援の流れ：高齢者支援課にご相談ください。

利用できる時間・期間：1週間あたり4時間まで、2週間以内。

利用対象者：①おおむね65歳以上の市民、②介護者が陽性となり介護者が不在となった方、または自身が陽性となり自宅療養となった方

支援実績（2月15日時点）：3件



感染症対応防護服を着用したレスキューヘルパー（イメージ）

■問い合わせ

自宅療養者支援窓口（レスキューフーズ）	安全対策課	0422-60-1916
感染症対応レスキューヘルパー事業	高齢者支援課	0422-60-1846